

# 採種圃

## 一 菜種採種圃

本採種圃は第三期種子配付計畫に基き、秋播種二品種の種子を農事實行組合に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品 種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
秋播菜種		二	二〇〇〇 <sup>反</sup>	二六・四〇〇 <sup>石</sup>	一八・〇一一

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

## 二 綠肥採種圃

本採種圃は綠肥種子配付計畫に基きベツチ及赤クロローバの種子を郡農會に配付せんが爲、之が種子の生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品 種	栽培面積	生産數量	配付數量
ベツチ		六〇〇 <sup>反</sup>	四・八四〇 <sup>石</sup>	四・八四〇
赤クロローバ		五四〇〇	一、二四三・七 <sup>石</sup>	一、二四三・〇
計		六〇〇〇	一、二四三・七	一、二四三・〇

## 三 玉蜀黍採種圃

本採種圃は、本年度の創設にして、飼料用玉蜀黍増殖計畫に基き、玉蜀黍四品種の種子を一般栽培用として配付せんが爲委託經營を以て之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品 種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
玉蜀黍		四	一、二二六・〇〇 <sup>反</sup>	一、二一九・五二 <sup>石</sup>	七二九・〇六

苗木養護圃

# 苗木養成圃

## 一 自家用果樹苗木養成圃

本養成圃は前年に繼續し、農家自家用果樹苗木栽培奨励計畫に基き、梨二品種、苹果三品種、葡萄三品種及梅、杏、李、須具利、總須具利各一品種の苗木を市町村農會を経て指定の農事實行組合各戸に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
梨		二	一・五〇	二七、九〇 <small>一本</small>	二七、八二六 <small>一本</small>
苹果		三	六・〇〇	一二、七七九	一二、七二九
梅		一	一・五〇	五、三一六	五、三一六
杏		一	〇・八〇	一、八五五	一、七八五
李		一	〇・六〇	一、五〇〇	一、三九九
葡萄		三	一〇・六〇	二九、〇七五	二四、〇五五
須具利		一	〇・四〇	二、〇〇〇	一、三三九
總須具利		一	〇・四〇	二、四六〇	一、三三九
計		一三	三二・五〇	八二、八八六	七五、七八八

# 採種圃監督

郡市農會採種圃の經營に對し、場員をして四回、三八日に互り出張せしめ、指導監督を行はしめたり。

## 原蠶種製造

一九三

本事業は本道に於ける蠶種製造者に原蠶種を供給せんとするにありて、本年度に於て掃立てたる蠶品種は歐洲種一、歐々固定種二、日支歐固定種一、一化性支那種一、一化性支々固定種一、二化性日支固定種一、二化性日本種一、二化性支々固定種一、二化性支那種一にして、其の製造蛾數六、〇二〇蛾、内二、三八〇蛾を配付せり。  
尙原蠶種に供せる餘剩を以て、春蠶竝に夏蠶用普通蠶種九六〇瓦を製造し配付用に供せり。

## 模範果樹園

本事業の目的は、果樹園經營上の範を實地に示さんとするにありて、渡島支場用地内に於て、經營面積八反歩に苹果、和梨、洋梨、支那梨、櫻桃、葡萄等を栽培せるに、葡萄は開花期に於ける天候不順の爲、結果歩合悪しく、櫻桃の雨害を被りたる外順調に進み、地積多き和梨は豫期以上の收穫を挙げ得たり。而して地方當業者に對し適切なる果樹耕種肥培技術の運用は、果樹園經營上如何に有利なるかを目睹せしめ、啓發せる所大なりき。

一九三

# 水稻新品種育成試験

本試験は農林省の指定に係り、其の目的高緯度又は寒冷地帯に適する早熟品種を育成せんとするにありて、上川支場に於て施行せり。而して本年の氣候は播種當時の天候適順にして、稚苗期の生育は平年より七日餘促進せられたれども、五月下旬及六月中、下旬には曇雨天多く、氣溫稍低下せるを以て、平年並の作況を示すに至れり。其の後七月初旬より八月末日に至る迄高溫多照なりし爲、稀有の良作況を示せるも、八月下旬は多少早魃の傾向を生じ、加ふるに九月以降約四〇日間の曇雨天と、刈取後の不順なる天候とに左右せられ、收穫及乾燥に豫想外の長時日を要し、時に甚しき降雹等ありて、量、質の低下を餘儀なくせしめられたれども、本試験を支障なく施行し得たり。

本年度施行せる試験の種類左の如し

試験の種類	交配組合せ数	供試系統數又は個體數
交配	九組	二四三
雜種第一代養成	二一	一一一、二九〇
雜種第二代個體選抜試験	二三	六七二
雜種第三代系統及個體選抜試験	一三	三七七
雜種第四代以後系統育成試験	二〇	五〇
系統特性檢定試験	一五	一七
晩播温床苗代栽培による葉稻熱病檢定試験	一三	一五
直播遮光法による穂首稻熱病檢定試験	一三	一五
標準肥栽培による系統生産力檢定豫備試験	一三	一五
標準肥並に多肥栽培による系統生産力檢定試験	一三	一五

# 小麥育種地方試験

本年度施行せる試験の概要左の如し

試験施行箇所	種類	數	區數
北海道農事試験場(本場)		一九	六、一五四
北海道農事試験場北見支場		七	六三四

本試験は農林省の指定に係り、其の目的は耐病性、耐寒性、多收、早熟及良質なる優良品種を育成せんとするにありて、本場及北見支場に於て施行せり。而して本年の氣候を見るに、春季融雪以來適順に經過せるも、七月下旬以降は全く降水なかりしを以て早害を被るに至れり。收量は平年に比し優り、子實の色澤亦良好なりしも、早魃の影響を受けて粒形は稍瘠細なるを示せり。

本年度施行せる試験の種類左の如し

## 一本場

### 甲秋播小麥

試験の種類	供試品種又は交配組合せ數	栽培個體又は系統數
品種試験	四〇〇	
種保		
存		

新品種育成試験	20	150
交配操作	9	89
雜種第一代養成	4	95
雜種第三代系統及個体選抜試験	1	5
雜種第四代以後系統及育成試験	3	8
育成系統特性鑑定試験	2	3
育成系統生産力検定豫備試験	1	2
育成系統生産力検定試験	6	8
配付系統採種栽培	6	5
小計	27	145
其他	1	5

乙 春播小麥

新品種保存	59	9
新品種育成試験	4	3
交配操作	2	9
雜種第一代養成	1	3
雜種第二代個体選抜試験	1	3
小計	66	27

雜種第三代系統及個体選抜試験	1	9
雜種第四代以後系統育成試験	3	5
育成系統特性鑑定試験	2	3
育成系統生産力検定豫備試験	1	2
育成系統生産力検定試験	1	2
配付系統採種栽培	1	2
小計	10	21
其他	3	5

二 北見支場

新品種育成試験	18	20
育成系統生産力検定豫備試験	6	8
育成系統生産力検定試験	4	8
小計	28	38

甲 秋播小麥

乙 春播小麥

試験の種類	供試品種又は交配組合せ数	栽培系統	数
新品種育成試験 雑種第三代系統及個体選抜試験 雑種第四代以後系統育成試験 育成系統特性鑑定試験 育成系統生産力検定豫備試験 育成系統生産力検定試験	二組		三四一
	二二		一九三
	二四		三六
	九		一五
	一五		二一
計	七二		六〇六

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 育成品種一品種「硬質春蒔小麦農林三五號」

本品種は本場に於て昭和三年「北海六號」を母とし「マンチュリア一四二」を父として人工交配を行ひ育成せるものにして、出穂期は「春蒔小麦農林三號」に比して十數日早く、早熟種の「春蒔小麦農林二九號」に比するも猶數日早し。收量は「春蒔小麦農林二九號」より劣るも「春蒔小麦農林三號」と大差なく、品質は小粒なるも極めて良質、特に製麵麵用として優秀なる硬質小麦なり。

昭和十五年三月二十五日印刷  
昭和十五年三月三十日發行

北海道農事試験場

札幌郡琴似村

印刷者 札幌市南二條西五丁目廿六番地 金井恒喜

印刷所 札幌市南二條西五丁目廿六番地 其水堂金井印刷所

電話 一七〇二番



14.2  
801



終

